

解説と解答 グリーン購入

ワークシートの目的 循環型社会は、生産→消費→リサイクルの輪を作ることですが、リサイクル品を消費者が積極的に利用しないとこの輪は作れません。ここでは、循環型社会形成のためには、購入製品の選択基準の1つにリサイクル品やリサイクルしやすくできていること、あるいは環境負荷が低いものなど、環境基準を加えることが必要であることを理解させます。

解説編

導入

ワークシート「プラスチックリサイクル 導入編 (6)リサイクル製品を探そう」やプラスチック図書館の「リサイクル関連マーク」などの資料を見せながら、リサイクル製品を使うことはどのような意味があるかを聞きます。

次に、循環型社会とは「大量生産・消費・破棄の社会に代わり、製品の再生利用や再資源化などを進めて新たな資源投入を抑え、廃棄物ゼロを目指す社会。」であることを確認し、そのために3R(リデュース、リユース、リサイクル)を進めることが欠かせないことを確認します。

次いで、こうしたことを行政機関や企業が積極的に進めるために作られたのがグリーン購入法であることを説明し、ワークシートに進みます。

時間の目安(15分)

展開

ワークシートを生徒に配ります。

下の説明文から根拠法、グリーン購入推奨製品、国、自治体、国民の役割について、下の説明文の番号を記入させます。

時間の目安(5分)

指導のポイント

●循環型社会形成の重要なポイントであるグリーン購入の考え方を理解させるとともに、製品の選び方を習得させます。

データ・関連資料

プラスチック図書館・グリーン購入

発表

書き終わったら、法律から順に正解を発表させながら、それぞれの内容を確認していきます。

特に、以下の2点については、詳細に見ていきます。

◆グリーン購入法で推奨されている製品
環境省のデータベース(環境ラベル等データベース)を参照し、実際にどのような製品が推奨されているかを見てみます。

<http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/index.html>

◆国民や企業の役割
プラスチック図書館のグリーン購入の項目を参考に、国や自治体の役割とともに、国民や企業の役割も学習します。

時間の目安(25分)

解答編



(1) 法律 正解 4



(2) グリーン購入法で推奨されている製品
正解 5

環境省のホームページにある 環境省のデータベース(環境ラベル等データベース)を活用し、確認。

<http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/index.html>

(3) 国・自治体・国民の役割



- 1) 国の役割 正解 3
- 2) 自治体の役割 正解 1
- 3) 国民・企業の役割 正解 2

国民にはグリーン購入推奨製品の購入が求められている。
企業には、グリーン購入の促進が求められると同時に、環境負荷の少ない製品の開発が求められている。